

リーダーシップポテンシャル詳細

総合：マネジメント・フォーカスとリーダーシップ・フォーカス

対象者の総合的なリーダーシップスタイルの詳細は以下のとおりです。

コメントは対象者の好むリーダーシップスタイルの典型的な行動です。図の横軸は業務型（マネジメント）、縦軸は変革型（リーダーシップ）です。対象者の好むスタイルが色の付いた四角で示されています。次ページのOPQ因子から、対象者の行動傾向をより深く理解することができます。以下、4つのリーダーシップスタイルそれぞれについても同じ形式です。

注意：コメントは当該リーダーシップ機能における、対象者の好みのリーダーシップスタイルに基づいたもので、そのスタイルの典型的な行動や状況を表しています。OPQ因子からの情報も用いて、コメントがどのように対象者に当てはまるかの解釈と理解を深めてください。

好みのスタイル：「リーダー」／「スペシャリスト」

「リーダー」と「スペシャリスト」の中間のスタイルを好む人は、新しい考えや活力、説得力のあるコミュニケーション、起業家的なアプローチを組織にもたらします。しかしながら、もしマネジメントの業務的側面を見落とすならば、あまり力を発揮できないかもしれません。

「リーダー」／「スペシャリスト」スタイルの人が得意なこと	「リーダー」／「スペシャリスト」スタイルの人が苦手なこと
- リーダーシップをとることのできる役割 - より広い、戦略的な見方をする機会がある場合 - 変革施策の立ち上げや伝達に関与する時 - 挑戦的で現実的な目標に向けて仕事をする事	- 高業績が期待される、非常に競争の激しい組織 - 業務効率に強く焦点を当てる役割 - 仕事に分析的、技術的な側面があること - ペースが非常に速い業界

